

公益財団法人仙台市健康福祉事業団

中期事業計画

(令和5年度 ▶ 令和9年度)

令和5年3月



公益財団法人仙台市健康福祉事業団

目 次

はじめに

- 1 計画策定の趣旨…………… P 1
- 2 計画の位置づけ…………… P 1
- 3 計画の期間…………… P 1
- 4 計画の進行管理…………… P 1

事業団を取り巻く状況と課題

- 1 高齢者を取り巻く状況…………… P 2
- 2 市民の健康づくりを取り巻く状況…………… P 2
- 3 新型コロナウイルス感染症について…………… P 2
- 4 施設の大規模改修工事について…………… P 2

各事業における取り組みの方向性

- 1 市民の生きがいづくり支援や社会参加の促進等…………… P 3
- 2 市民の健康づくり支援や介護予防…………… P 5
- 3 高齢者等の介護に関する研修、相談及び情報提供…………… P 7
- 4 要介護認定及び障害支援区分認定に係る認定調査…………… P 9
- 5 仙台市シルバーセンター及び仙台市健康増進センターの管理運営…………… P 10
- 6 法人経営…………… P 11

はじめに

1 計画策定の趣旨

公益財団法人仙台市健康福祉事業団（以下「事業団」という。）は、平成 30 年 3 月に「仙台市健康福祉事業団中期事業計画（平成 30 年度～平成 34 年度）」を策定し、計画的な事業の推進に努めてきました。

今般、当該計画の計画期間が満了することから、令和 5 年度から令和 9 年度までを計画期間とした中期事業計画を新たに策定するものです。

2 計画の位置づけ

事業団の目的である「仙台市民一人一人が心豊かに健康で共に生きる社会である豊齢化社会の実現に向けた生きがい・健康づくりの支援、介護知識の普及等に関する事業を行い、もって市民福祉の向上に寄与すること」を達成するために実施する各事業の中期的な取り組みの方向性を定めるものです。

仙台市との緊密な連携が不可欠であることから、「仙台市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」や「いきいき市民健康プラン」との整合に留意し、仙台市の取り組み推進にも資する計画といたします。

3 計画の期間

令和 5 年度から令和 9 年度まで（5 か年）

4 計画の進行管理

本計画による取り組みの着実な推進を図るため、年度ごとの実施状況を把握し、利用者アンケートや第三者による評価などを通じて検証を行うとともに、必要に応じて事業を見直すなどさらなる取り組みを進めてまいります。

事業団を取り巻く状況と課題

1 高齢者を取り巻く状況

仙台市の高齢者人口は、令和 27（2045）年頃にピークを迎えると見込まれており、今後、一貫して増加傾向にあります。

仙台市が実施した「高齢者一般調査」によると、「楽しさや生きがいを感じること」への回答において「趣味・学習」が 53.5%と一番多く、事業団が実施する「高齢者の生きがいづくり」について、今後とも充実を図っていくことが求められています。

また、計画期間中の令和 7（2025）年には団塊の世代全員が 75 歳に達することとなります。後期高齢者人口が大きく増加するところであり、「要介護認定に係る訪問調査」のための体制をしっかりと構築することとともに、「介護に関する研修、相談及び情報提供」について引き続き取り組みを推進していく必要があります。

2 市民の健康づくりを取り巻く状況

全国の平均寿命は、令和 3（2021）年において、男性 81.47 歳、女性 87.57 歳となっており、本市においても、今後引き続き平均寿命が延びることが見込まれています。

「高齢者一般調査」によると、介護予防に関して「筋力の維持・向上のための運動教室などの取り組み」に力を入れるべきとの回答は 2 番目に多い 28.1%となっています。

健康寿命の延伸に向けた「高齢者の介護予防」や「生活習慣病の予防」のための取り組みを継続するとともに、「障害者の健康づくり」にも力を注いでいく必要があります。

3 新型コロナウイルス感染症について

新型コロナウイルス感染症については、感染法上の位置づけを「5類」に引き下げることが決定されるなど、アフター・コロナが視野に入りつつある状況にあります。

今後とも国や宮城県、仙台市の定める指針やガイドラインを踏まえた感染防止対策を適切に講じながら事業を進めていくこととなりますが、三密回避のための参加人数の削減や対面型・接触型の事業の中止などといった対応も状況によっては必要となる可能性があります。

4 施設の大規模改修工事について

仙台市シルバーセンターと仙台市健康増進センターについては、いずれも令和 6 年度から 7 年度にかけて大規模改修工事の実施が予定されています。

当該工事期間中、シルバーセンターが休館となるなど、各事業の実施に一定の制約が生じる見込みであり、このことを前提に新たな中期事業計画を策定する必要があります。

各事業における取り組みの方向性

1 市民の生きがいづくり支援や社会参加の促進等

(1) 前中期事業計画の振り返り

① 高齢者の生きがいづくり

せんだい豊齢学園については、平成30年度にコースを再編し、生涯学習と社会貢献活動を担う人材の育成を目的とした「社会活動コース」と介護予防・生きがいづくりを主眼とした後期高齢者向けの「75歳からのアクティブライフコース」を開設しました。

しかし、新型コロナウイルス感染症の拡大により、令和2年度と3年度は全面的な休講を余儀なくされ、令和4年度についても単位を縮減するなどの影響がありました。それぞれのコースの定員に対する申込者数が減少傾向にあり、その回復に向けては、感染の収束により学びの環境が整うことが待たれるところもありますが、事業団においてもより魅力的なカリキュラムを提供していくことが求められています。

●せんだい豊齢学園の申込者数

コース名	定員	申込者数		
		平成30年度	令和元年度	令和2年度
社会活動コース	80人	129人	82人	81人
75歳からのアクティブライフコース	40人	78人	53人	46人

② 高齢者の社会参加の促進

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、全国健康福祉祭（ねんりんピック）仙台市参加者等派遣、せんだい豊齢ネットワークの活動支援などの取り組みにおいて、事業の休止などの影響がありました。

今後の感染状況に応じ、市民の健康確保を第一に取り組みを進めていく必要があります。

③ 健康福祉意識の醸成啓発

各講演会の開催において、収容人員の削減など新型コロナウイルス感染症の影響はありましたが、参加申込状況は概ね良好でした。

各情報誌の発行などは計画通りに実施しました。

(2) 取り組みの方向性

① 各種講座の開催・高齢者ボランティア等の人材養成

せんだい豊齢学園については、仙台市シルバーセンターの大規模改修工事期間中は外部に別会場を確保することとした上で、人材育成を目的とした「社会活動コース」と後期高齢者向けの「75歳からのアクティブライフコース」から成る現在の学習コースを継続し、それぞれ申込者数の増加につながるよう新規カリキュラムの創設など工夫を凝らしていきます。

社会活動コースについては、修了後の活動状況の把握のための調査を毎年度実施し、その結果を踏まえ、必要な対応を検討していきます。

その他、意識啓発のための講演会やシニアの学び合いのための講座などを継続的に実施する他、高齢者の ICT スキルの向上に資する新たな取り組みについて検討していきます。

② ボランティア団体等の支援

せんだい豊齢ネットワークについては、事業実施の主たる会場である仙台市シルバーセンターが休館となる令和 6・7 年度における施設貸出等は休止しますが、ICT の活用による活動支援に努めていきます。その他の期間においては、従前どおりの活動支援を継続します。

③ 高齢者等の総合相談

高齢者に関する一般相談及び専門相談を引き続き実施していきます。

仙台市シルバーセンターの休館中においても、仮事務所において電話相談など、実施可能な範囲で事業を継続します。

④ 活動の発表の機会の提供

シルバー創作展については、仙台市シルバーセンターの休館中においても、別会場の確保に努め、継続的な開催を目指していきます。

全国健康福祉祭（ねんりんピック）仙台市参加者等派遣については、委託者である仙台市と連携して、引き続き事業を実施します。

⑤ 普及啓発イベントの開催

仙台市と連携して、仙台市高齢者生きがい健康祭や介護予防月間実施業務などを継続して実施していきます。

⑥ 情報誌の発行

健康福祉情報誌「げんき倶楽部 杜人」やシルバーセンターだより「あばいん」の発行などを継続し、健康福祉に関する意識啓発を図っていきます。

数 値 目 標	<ul style="list-style-type: none">① せんだい豊齢学園の新規カリキュラムを毎年度 1 カリキュラム以上提供します。② せんだい豊齢学園を含む各種講座の参加者アンケートの満足度について、現状で 86%のところ、90%以上を目指します。③ 大人の未来学校の男性の参加割合について、現状で 5%のところ、30%以上を目指します。
------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2 市民の健康づくり支援や介護予防

(1) 前中期事業計画の振り返り

① 生活習慣病の予防・改善

収容人員の削減など新型コロナウイルス感染症の影響はありましたが、ヘルスアップセミナーやヘルスプロモーション啓発セミナーなどを概ね計画通りに実施した他、民間事業者と連携した地域展開にも取り組むことが出来ました。

●ヘルスアップセミナーの申込者数

	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度 (2月時点)
定員	165 人	145 人	205 人	240 人	200 人
申込者数	153 人	129 人	159 人	178 人	157 人
割合	93%	89%	78%	74%	79%

② 高齢者の介護予防

新型コロナウイルス感染症拡大防止のための中止期間はあったものの、シニア元気あっぷ運動教室などの高齢者運動教室を概ね計画通りに実施した他、町内会等への出前講座等の地域展開にも努めました。

また、認知機能低下予防についても、各種教室や講座等を通じて啓発等の取り組みを進めました。

③ 障害者の健康づくり

新型コロナウイルス感染症拡大防止のための中止期間はあったものの、各区拠点施設における障害者健康づくり教室などを概ね計画通りに実施した他、オンラインを活用した健康づくり教室プログラムを開発しました。

④ 運動支援者・指導者の人材養成

新型コロナウイルス感染症拡大防止のための会場の制約はあったものの、介護予防運動サポーター養成研修会や健康づくり運動サポーター養成研修会などを概ね計画通りに実施しました。

(2) 取り組みの方向性

① 各種講座の開催

高齢者運動教室や障害者健康づくり教室などを引き続き実施していきます。

仙台市健康増進センターと仙台市シルバーセンターの大規模改修工事期間中についても、別会場の確保に努め、事業を継続していきます。

新型コロナウイルス感染症の影響で接触型・対面型の教室展開に制約があることに鑑み、ICTの活用による教室プログラムの開発を充実していきます。

② 運動支援者・指導者の人材養成

介護予防運動サポーター養成研修会や健康づくり運動サポーター養成研修会などを継続して実施していきます。

③ 健康づくりに関する相談・支援

健康づくり支援プラン事業については、仙台市健康増進センターの大規模改修工事期間を除き、継続して実施していきます。

この他、健康づくり教室の修了者等を対象としたフォローアップや杜の都の体操シリーズの普及啓発のための取り組みなどを継続して実施していきます。

④ 地域展開・普及事業

生活習慣病の予防・改善や高齢者の介護予防、障害者の健康づくりに係る出前講座を継続して実施するとともに、認知機能低下予防にも引き続き取り組んでいきます。

各区役所とのさらなる連携強化に向け、現在、一部の区役所と実施しているウォーキング講座などについて5区展開を目指していきます。

数 値 目 標	<ul style="list-style-type: none">① ICTの活用による教室プログラムの開発を目指します。② 障害者健康づくり教室やウォーキング講座における5区全てへの展開を目指します。③ ヘルスアップセミナーの定員に対する申込者数の割合について、現状で79%のところ、85%以上を目指します。
------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

3 高齢者等の介護に関する研修、相談及び情報提供

(1) 前中期事業計画の振り返り

① 介護講座の実施

収容人員の削減など新型コロナウイルス感染症の影響はありましたが、各講座を概ね計画通りに実施しました。

各講座の定員を上回る申し込みがあるものの、定員に対する申込者数の割合は低下傾向にあり、申込者数の確保に向けた取り組みが求められています。

●市民向け介護講座の申込者数

	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度 (1 月時点)
定員	1,530 人	1,495 人	915 人	1,235 人	895 人
申込者数	2,745 人	2,461 人	1,133 人	1,363 人	1,020 人
割合	179%	165%	124%	110%	114%

② 介護職の人材養成

新型コロナウイルス感染症の影響で接触を伴う実習の実施が困難な状況にあったものの、個人ワークへの置き換えなどの工夫を凝らし、概ね計画通りに研修を実施しました。

③ 介護に関する相談・情報提供

新型コロナウイルス感染症拡大防止のための中止期間はあったものの、概ね計画通りに介護に関する相談に対応した他、図書の閲覧・貸出や福祉用具の展示、福祉用具啓発動画の制作などを実施しました。

④ 地域展開・普及啓発

新型コロナウイルス感染症拡大防止のための中止はあったものの、概ね計画通りに認知症サポーター養成講座などを実施しました。

(2) 取り組みの方向性

① 介護講座の開催

各市民向け講座を引き続き実施していきます。

仙台市シルバーセンターの大規模改修工事期間中についても、別会場の確保に努め、事業を継続していきます。

各講座における申込者数の確保に向け、情報発信などの取り組みを検討していきます。

② 介護職の人材養成

認知症介護研修や介護職スキルアップ研修などを引き続き実施していきます。

③ 介護に関する相談、情報提供

介護に関する相談及び福祉用具啓発動画の制作・発信について、継続して実施していきます。

図書等の閲覧・貸出及び福祉用具の展示については、仙台市シルバーセンターの大規模改修工事期間を除き、継続して実施していきます。

④ 地域展開・普及啓発

認知症サポーター養成講座などを継続して実施していきます。

数 値 目 標	<ul style="list-style-type: none">① 介護講座の定員に対する申込者数の割合について、現状で 114%のところ、160%以上を目指します。② 認知症サポーターについて、令和 9 年度までに 14 万人の養成を目指します。③ 介護職スキルアップ研修の参加者アンケートの理解度について、現状で 79%のところ、90%以上を目指します。
------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

4 要介護認定及び障害支援区分認定に係る認定調査

(1) 前中期事業計画の振り返り

仙台市及び他市町村等から委託を受け、要介護認定等の訪問調査を実施しましたが、調査員に欠員が生じる状況もありました。

(2) 取り組みの方向性

仙台市及び他市町村等から委託を受け、介護保険法及び生活保護法に基づく介護サービスの受給要件となる要介護認定のための訪問調査及び認定調査票の作成を引き続き実施していきます。

また、仙台市及び他市町村等から委託を受け、障害者総合支援法に基づく障害福祉サービスの受給要件となる障害支援区分認定のための訪問調査及び認定調査票の作成を引き続き実施していきます。

調査員の確保に向け、より効果的な求人に応募する情報発信などの取り組みを継続するとともに、人材の育成に努めていきます。

数 値 目 標	<ul style="list-style-type: none">① 職員定数に係る充足率 100%を目指します。② 要介護認定調査の依頼を受けてから訪問調査実施までに要する日数について、現状で 17 日のところ、15 日程度までの短縮を目指します。
------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

5 仙台市シルバーセンター及び仙台市健康増進センターの管理運営

(1) 前中期事業計画の振り返り

新型コロナウイルス感染症拡大防止のための利用停止や利用自粛要請に加え、仙台市シルバーセンターにおいては地震による設備損傷に伴う利用停止もありましたが、概ね計画通りに管理運営を行いました。

●仙台市シルバーセンター利用者数

	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
交流ホール・各種研修室等	84,349 人	66,842 人	24,251 人	38,219 人
温水プール・浴室・サウナ	44,586 人	42,200 人	16,471 人	16,309 人

●仙台市健康増進センター利用者数

	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
指定管理事業	29,778 人	26,805 人	8,481 人	12,963 人

(2) 取り組みの方向性

仙台市との指定管理契約に基づき、引き続き適切な施設の維持管理に努めていくとともに、利用者アンケートなどを踏まえたサービスの向上にも取り組んでいきます。

数 値 目 標	<p>① 仙台市シルバーセンターの利用者数について新型コロナウイルス感染症拡大前の水準確保を目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流ホール・各種研修室等 年間 90,000 人 ・温水プール・浴室・サウナ 年間 50,000 人 <p>② 仙台市健康増進センターの利用者数について新型コロナウイルス感染症拡大前の水準確保を目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理事業 年間 28,000 人
------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

6 法人経営

(1) 前中期事業計画の振り返り

法定の公益認定基準との適合性を維持するとともに、コンプライアンスの推進にも力を入れてまいりました。

また、各種事業の推進に資する人員の確保とともに、職員研修の充実や定年退職者の能力活用等によるスキルの伝承にも努めました。

更に職員の能力評価制度を導入し、適正な評価による人事管理を行うとともに、職員の能力開発及び効果的な人材育成、職場の活性化と能率の向上の推進を図りました。

計画的で効率的な予算の執行を行うとともに、自主財源の確保に努め、安定した経営基盤の確立を意識した法人経営に努めたところです。

(2) 取り組みの方向性

公益認定基準を始め現行の公益法人制度の見直しが進められており、新しい公益法人制度に適合した法人の運営と合わせ、引き続き公益性の確保及びコンプライアンスの推進に努め、市民や社会のニーズに積極的に応えてまいります。

事業の実態や事業の変更等に対応するため、組織体制を柔軟に見直し、事業実施に必要な人員の確保を行うとともに、サービスの質の向上を図るため、事業の適切な評価改善や職員研修の充実に努めてまいります。

また、引き続き職員の能力評価制度を活用した人事管理や人材育成等を図ります。

仕事と家庭生活の両立ができる雇用環境の整備を行うため、超過勤務の縮減を目的としたノー残業デーを増やし、有給休暇取得率の向上にも努めてまいります。

今後とも、計画的で効率的な予算の執行を行うとともに、自主事業における適正な受益者負担を求めるなど、自主財源の確保に努め、安定した経営基盤の確立を意識した法人経営に努めてまいります。